第２学年○組　学級活動（１）指導案

令和３年○月○日（○）第○校時

指導者　　　教諭　○○○○

男子○名　女子○名　計○名

１　議題　「学級目標を達成するための取組を考えよう」

（ア　学級や学校における生活上の諸問題の解決）

２　議題について

　⑴　生徒の実態

本学級の生徒は、明るく活発である。授業で積極的に発言することができる生徒がいる一方で自分の考えに自信を持てず、相手に伝えることをためらってしまい、自分の思いや願いを積極的に発表することが苦手である生徒も多い。

　１学期の学級会では意見は出るものの、一部の生徒の考えによってしまい、話合いが深まりきらないこともあった。そこで、自分の意見を明確にするために、事前にGoogle Formsを使って考えを表現する時間を確保した。これにより、自分の考えを表現できる生徒が増えてきている。

　前回の学級会では、「比べ合う」段階において３分の２程度の生徒が自分の意見を発表することができた。発表しなかった生徒も小グループでの話合いでは意見を出したり、全体での決定の際には頷いたりと意思を表現している様子が見られた。

　現在の学級の状況としては、体育祭や合唱祭など学校行事を重ねるごとに学級としてのまとまりが出てきている。困っている仲間に声をかける優しさが見られる一方で、まだ高め合う段階までは至っていないという点においては課題を感じている。また、４月に立てた学級目標は節目ごとに全体で確認し、学級目標を見失うことがないようにしてきた。

　活動を通して他者の意見を尊重し、自分の考えと折り合いを付けながら合意形成を図っていきたい。学級への帰属意識が高まり、学級目標を全員の協力のもと達成することができるような、温かい学級の雰囲気を醸成していきたい。

　⑵　議題選定の理由

　本学級は体育祭、合唱祭を経て学級目標である『』（明るくて　磨きあえる　美しい　笑顔がたえない２－３）の達成に近づくことができている。特に、「明るい」や「笑顔がたえない」という点では行事の中でも多々見られ、達成しつつある。一方で、「磨きあえる」や「美しい」という点には課題があるように感じている生徒が多くいる。互いに磨きあいながら、学級としてさらに成長するために、学級目標の達成に向けての取組を考え、仲間と協力していきたいという生徒の思いにより、本議題は選定された。

３　第２学年の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| よりよい生活を築くための知識・技能 | 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 | 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 |
| 学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。 | 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。 | 学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。 |

４　事前の活動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時活動の場 | 生徒の活動○学級活動委員会の活動 ●全員の活動 | 指導上の留意点 | ◎目指す生徒の姿【観点】（評価方法） |
| ○月○日（○）朝の会 | ●第２回学級目標達成度調査に回答する。 | ・３月に学級目標が達成すると考えて回答するように伝える。 | ◎学級の様子を客観的に捉えて回答している。【思】（chromebook） |
| ○月○日（○）放課後 | 〇出された議題から望ましい議題を２～３個選定する。 | ・議題を選定する際の視点について助言する。 | ◎よりよい学級生活を目指し、進んで議題を考えたり決めたりしている。【態】（観察、提案カード） |
| ○月○日（○）帰りの会 | ●議題を決定する。 | ・学級活動委員の提案のもと、全員で議題を決定する。 |
| ○月○日（○）放課後 | 〇活動計画を立てる。（提案理由、めあて、話し合うこと、決まっていること（条件）、役割分担等） | ・提案者の思いが全員にも伝わるように提案理由の練り上げに努める。・日時や場所等の条件を教師が設定して伝える。・前回までの反省を活かすという視点について助言する。・発言に対しての疑問や質問がないかの確認を適宜行うように伝える。・話合いの場面や流れを想定し、具体的な手立てのイメージを持って学級会に臨めるように助言を行う。（例えば、話合いが停滞した時には発案者に問い返してみることや、意見が偏った際に反対の意見も聞くように考えを深めさせておく。）・話合いの際に、黒板を構造的に使うことができるように助言しておく。 | ◎学級活動委員の役割や学級目標の達成に向けた取組を決めるための話合いの進行の仕方等を理解している。【知】(観察) |
| ○月○日（○）帰りの会 | ○話し合うことを全員に知らせる。●Google Formsに自分の考えを入力する。 | ・話し合うことや決まっていることが共通理解できるように助言する。・自分の考えを整理し、根拠や自信を持って学級会で発表できるようにする。・一人一人が自分の意見をもてるようにする。また、一人一人が自信をもって自分の意見を発表できるようにする。 | ◎議題に関心をもち、進んで自分の考えをまとめている。【態】（Google Forms） |
| ○月○日（○）放課後 | 〇集計した意見から学級全体の意見を把握し、話合いの流れを確認する。 | ・話合いの見通しを持つことができるようにする。 | ◎多様な意見を把握し、話合いに必要なことを理解している。【知】（観察、発言）◎話合いの展開について見通しを持ち、対応について考えることができる。【思】（観察、発言） |

５　本時の展開

　⑴　本時のねらい

　　　　学級目標を達成するため、自分の考えと他者の考えに折り合いをつけて、進んで協力しようとする態度を養うとともに、決定した取組に対し、一人一人が役割を果たし、居心地のよい学級づくりに主体的に参画する態度を育成する。

⑵　指導計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 活動の計画 | 指導上の留意点　 | ◎目指す生徒の姿【観点】（評価方法） |
| １　はじめの言葉２　学級活動委員の紹介３　議題の確認４　提案理由の確認［提案理由］　２大学校行事である体育祭と合唱祭はみんなの協力のおかげで無事終えることができました。１学期に比べ、学級としてもまとまりが出てきたと思います。しかし、磨きあえる」や「美しい」という点にはまだ課題を感じます。そこで、学級目標を達成するために具体的な取組を考えたいと思います。そうすれば、何ができるようになれば学級目標を達成したのか、の判断が分かりやすくなると思います。普段の学校生活の中での取組を通して学級目標を意識して行動していくことで２年３組が集団として成長し、３月には学級目標を達成できると考え、この議題を提案しました。　５　決まっていることの確認６　話合いのめあての確認 | ・学級活動委員会で検討された過程、経過を示した上で、本時の概要を学級全体に設定する。・自主的に学級会が運営されるように事前指導に力を入れる。・期限は２学期いっぱいまで・全員の協力が必要となること |  |
| ７　話合い　話し合うこと①「学級目標を達成するための具体的な取組を考えよう」　話し合うこと②　「役割分担を決めよう」 | ・取組の内容はあらかじめchromebookで集計しておいて、６～８個に絞り、比べ合うところから始める。・比べ合いながら合意形成を図り、取組の内容を決めていく。取組は２～３個に収まるようにする。・一人一人が相手の意見を真剣に聴くけるようにする。また、一人一人が自信をもって自分の意見を発表できるようにする。・学級活動委員が黒板を構造的に使えるようにする。（２つの案を比較する際は隣に並べたり、話合いの中心になっている短冊を上に上げたりして見やすくする。）・話合いがめあてから外れないようにする。・話し合うこと①で議論が深まって時間がかかるときは無理に終わらせようとせず、役割分担は改めて考えるようにして、話合いを大切にする。・決まった取組をクラス全体で進めていくために、全員が役割を担うようにする。 | ◎理由を踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを伝えている。【思】（観察、学級会シート）◎活動の目標や活動内容について合意形成を図るため、建設的な意見を発表している。【思】（観察、学級会シート） |
| ８　決まったことの確認９　振り返り10　教師の話11　おわりの言葉 | ・学級会シートの振り返り欄に記入をする。・学級目標を達成するための取組に向けて意欲的に取り組めるよう励ますとともに、学級会の内容を振り返り、よかった点、反省点を振り返る。・話合いを通して見えた変容を伝える。・学級活動委員に称賛を送る。 |  |

６　事後の活動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 生徒の活動 | 指導上の留意点 | ◎目指す生徒の姿【観点】（評価方法） |
| ○月○日（○）放課後 | ・決まったことを教室後方に掲示する。 | ・誰もが見やすい掲示となるように助言する。 | ◎目標を意識し、仲間と協力しながら実践に取り組んでいる。【思】（観察、chromebook）◎合唱祭を振り返り、全員で決めて実践するよさを感じ、次の活動に生かそうとしている。【態】（chromebook） |
| ○月○日（○）～○月○日（○） | ・学級会で決めた取組を実践する。 | ・活動意欲を継続できるよう、帰りの会等で活動報告を行うなど、一人一人が自主的に活動できるようにする。 |
| ○月○日（○） | ・学級会で決めた取組を振り返る。 | ・実施した期間の取組について振り返るように促す。 |
| ３学期 | ・２学期に行った取組を通して見つかった成果と課題を見直し、年度末に向けた学級会を行う。 | ・２学期の成果と課題から次の学級会につなげていく。・３学期も同様に学級会を行い、年度末に学級目標を達成するためにまとめの活動をしていく。 |